

少し手を入れれば安全性を担保できると思われれます。しかも、景観に配慮した補強方法も十分に考えられます。開削はいつでもできます。本当に保存できないかどうかを再度検討されることを望みます。

**高橋 慎一郎さん 東京大学史料編纂所准教授 日本中世史
※個人として寄稿**

北鎌倉駅前トンネルの開削問題に関しましては、さまざまな議論を踏まえ、慎重に対応されることを希望します。

中島 圭一さん 慶應義塾大学文学部教授（日本中世史）

北鎌倉駅ホーム横の尾根開削によって、中世以来の歴史的景観を回復不可能な形で破壊してしまうことは、わが国の歴史研究と祖先から伝えられてきた文化財の保全にとって極めて大きな損失であるばかりでなく、古都鎌倉の世界遺産申請にとっても重要な生涯になる行為として、深く憂慮します。

**橋口 定志さん 東京考古談話会代表 日本考古学協会理事
NPO 法人としま遺跡調査会理事**

JR 横須賀線北鎌倉駅に、北側丘陵から突き出した岩塊が、鎌倉時代には円覚寺の西側結界であったことは、歴史を学ぶものであるなら周知のことであり、更に遡れば中世都市鎌倉の北の境界と認識されていたという説さえあります。

鎌倉市は「中世都市鎌倉」の世界遺産登録を目指すと標榜しつつ、次々と大切な歴史景観・遺構を破壊してきた前歴があります。

その愚を「円覚寺西側結界」では繰り返すことなく、後世に伝えるための努力をしていただきたいと、強く要望するものです。

**細川 涼一さん 京都橘大学教授（学長） 日本中世史
宗教社会史（鎌倉の寺院に詳しい）**

私は鎌倉学園高校の卒業生ですので、高校時代は北鎌倉駅を毎日利用しておりました。その北鎌倉駅脇の防塁は円覚寺の境界であり、中世都市鎌倉の境界として重要な歴史的遺構です。是非とも保存していただきたいと要望いたします。

**本郷 和人さん 東京大学史料編纂所教授 日本中世史
NHK 大河ドラマ「平清盛」を監修**

中世の風景を大事にしよう！破壊しないで！

円覚寺西側結界は、鎌倉市内にわずかに残る中世の景観です。

**松尾 剛次さん 山形大学教授 日本中世史
『中世都市鎌倉の風景』著者**

緊急アピール 円覚寺門前の歴史的遺物を守ろう！

円覚寺門前の北鎌倉一帯には、建武元（一三三四）年から建武二（一三三五）年七月以前頃に描かれた「円覚寺境内絵図」に見える風景が残されてきました。

「円覚寺境内絵図」の世界が、いわばそのまま残っている極めて貴重なゾーンといえます。ところが、鎌倉市は、この度、その施設を壊してしまう計画のようです。

古都鎌倉がユネスコの世界文化遺産登録に失敗した理由の一つに、中世の目に見える遺物の少なさがあったのですが、「円覚寺境内絵図」世界を破壊するのは、暴挙というほかないひどい事です。ぜひ、なんらかの保存処置を行うようお願いする次第です。

**宮瀧 交二さん 大東文化大学文学部教授
日本史・博物館学 学術博士**

世界中の誰もが「世界遺産」の重要性は理解しています。しかし、各地に残る歴史遺産もまた、その地域の歴史・文化を考えていくためには必要不可欠なもので、その価値は「世界遺産」とはまた違う観点から大変重要なものです。地域を特徴付ける歴史・文化を世代を超えて将来に継承していくためには、このような地域に残る歴史遺産を大切にしていかなければなりません。

円覚寺結界遺構は、鎌倉の歴史・文化を考える上で、ひいては日本中世の歴史・文化を考える上で、大変重要なものです。

1000年近くもの長きにわたって継承されてきたこの結界遺構を、今、私たちの一存で消滅させてしまってもよいのでしょうか？

将来、鎌倉が「世界遺産」に登録されるであろう時に必要不可欠なこの結界遺構を、先代が私たちに手渡してくれたように、私たちもまた次の世代に手渡していくことが大切ではないのでしょうか。

桃崎 祐輔さん 福岡大学人文学部教授 考古学

国宝舍利殿を含む円覚寺の寺域とその宗教的空間構造の中で、北鎌倉の円覚寺結界遺構は重要な意義があります。

本遺構とこれを取り巻く景観の破壊は致命的な損害となり、円覚寺、ひいては古都鎌倉全体の価値を損ねるものです。破壊容認に強く抗議します。

八重樫 忠郎さん 平泉ユネスコ協会事務局長（考古学） 平泉世界遺産登録の衷心的存在 鎌倉の遺跡にも詳しい

このたび鎌倉市におかれましては、北鎌倉駅ホームに張り出した岩盤を危険個所ということで除去することを決定した旨、伝え聞きました。あの岩盤は、北鎌倉駅周辺の景観を構成する重要な要素であるとともに、鎌倉五山第二位円覚寺の境内を限る結界として、歴史的にも意義が深いものだとうかがっています。

つきましては、岩盤を保存しながらも危険要素を取り除けるような工法等への変更につきまして、ご検討をお願い申し上げます。

八幡 義信さん 神奈川県文化財協会会長 鎌倉国宝館協議会会長

鎌倉は、近代都市化する中で宅地化などにより開発が進み、多くの歴史的景観が失われました。

近年、学術調査の成果や市民運動の広がりにより残された歴史・自然景観を後世に伝えようとする動きが活発化しています。

特に当地は中世の絵図に記録された重要地域であり、奇跡的に残された貴重な中世的景観を後世に伝える事は大きな使命です。

近藤 英夫さん 日本考古学協会会員

「円覚寺境内西側結界遺構」の現状保存についてのお願い

前略。「円覚寺境内西側結界遺構」の削平がなされると聞き及びました。この遺構は、中世鎌倉の景観を今にとどめる貴重な遺構であります。どうか叡智を集め、歴史遺産の保全と住民生活の安全確保の両立を図っていただきたいと、存じます。